

支援事例

商工会名	甲佐町 商工会	氏名	宇都宮奈央	情報開示の可否	可
支援テーマ	持続化補助金	題名	新メニュー提供による販路拡大		

<支援企業の概要> 宇土市商工会会員						
事業所名	REVIVE	従業員	2人	創業/ 会社設立	創業日	2017年1月9日
業種	エステティック業	うち家族従業員	0人		業歴	8年2ヶ月

○企業概要
2017年1月エステティック業を創業。 創業当初は、熊本県宇土市の宇土駅前に店舗を構え、2021年3月に現在の所在地に移転。 営業時間：通常 9時～18時 月曜・金曜 9時～21時 店休日：火曜日 従業員：2名 代表者も従業員も多種多様な資格を保有しており、お客様ファーストで、お客様を尊重し、地域に根差し地域に貢献するという基本理念のもと、日々良質なサービスの提供に努めている。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題
支援前は、代表者1名と従業員1名の2名体制でお客様に対応されていた。顧客や売上は年々と増加していたが、同じような郊外の自宅サロン等も増えてきており、大幅な売上の向上には繋がっていない状況。サロンのメニューも低価格に抑えているため、朝から夜まで営業時間いっぱい働き、1日の来客数や顧客が増やしても、大幅な売上の向上には繋がっていない状況であった。この状況を改善したいとの相談であった。 課題として、以下3点を提示した。 ①低価格メニューが多いことでの人時生産性の低さ、②売上の主力となるメニュー不足、③競合の増加で他社との差別化の必要性

○支援内容および支援後の状況・効果
まずは、低価格帯のメニューが多いため、売上の主力となる高価格帯の新メニューの開発が必要。 顧客の要望調査等でも、「痩身」メニューの期待度が高く、新たなメニューとして痩身メニューの導入を計画。 また、競合との差別化として、メンズ客対応サロンとしての認知度向上についても、小規模事業者持続化補助金を活用して行った。 効果としては、持続化補助金事業期間内で、痩身メニューによる施術が131回（モニター含む）と売上増加に繋がった。また、2種類の痩身機器をスタッフ2人同時に使用し施術することが可能となり、施術時間が短縮され業務が効率化となった。

○今後について（目標や課題など）
今回痩身メニューを取り入れ、メンズ客もモニターとなるなど新たな市場への認知度向上は出来ているが、まだ顧客としては少ないのが現状である。また、既存の低価格メニューの予約で新しい痩身メニューの予約が入れられないことがあったとのことであった。施術部屋は余っており機会損失となっているため、人手不足というところが課題である。新規雇用についても今後検討するとのことであった。